

園芸市場情報

平成29年5月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

5月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

やっちゃんば閑話 P8

首都圏掲示板 P9

<今月の4枚>

* 人・物・金が集まり情報を発信するのが卸売市場 *

大田市場では、年間を通じて各県・産地のトップセールスが行われています。

毎年行うことにより、今年もこの産地、この品目の時期が到来したことを広く業界に知らしめる効果があります。

29年度本県は、5月8日の「プレミアム夏ねぎ」から市場におけるPRを開始します。



(上段左から、JAさがえ西村山さくらんぼ、宮崎県産マンゴー、JA北つくば小玉すいかの試食宣伝会)

(下段 埼玉県上田知事トップセールス)

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 4月（中旬まで）の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 （注：今月から「上中旬合計」（2旬）を「下旬～中旬合計」（3旬）に変更しました。）
 04 5月の見通し
 05 品目別生産出荷概況
 特集「にんじん」

II 花き（切花）情報

- 06 4月の経過（販売経過、品目別経過）
 5月の見通し（カーネーション、トルコギキョウ）
 入荷量と単価の経過 <確定値>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 3月の青果物と花き
 （注：今月から累計を「年度」（4～3月）から「暦年」（1～12月）に変更しました。）

IV やっちゃんば閑話

- 08 安定は力なり

V 首都圏掲示板

- 09 「房州びわなど春果実、本格出荷始まる！」
 「4月18日はガーベラ記念日。全国のガーベラが大集合！」

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：±2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 3月下旬～4月中旬までの経過

気象 全国的に暖かい穏やかな天候となった。
気温は、3月までは平年を下回ったが、4月に入ると全国的に暖かい日が多く、4月の気温は全国的に平年をかなり上回った。
降水量は、定期的に雨があり全国的に平年より多くなった。
日照時間は、関東以北の太平洋側では4月の日照時間が平年を上回り、全国的にも平年並だった。

野菜類

入荷量 関東産、西南暖地産が中心となった。
気象が安定し適度な降雨もあるためほとんどの品目で生育が安定している。入荷量は、「だいこん」「にんじん」「はくさい」「キャベツ類」等の露地重量野菜や「トマト」等の施設野菜を中心にほとんどの品目で前年を上回った。
野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの入荷量は137,618t（前年比108.4%）と前年並だった。

相場 入荷が安定し、市場全体に漂う充足感から、野菜は全体的に下げ基調となっている。多くの品目で前年を下回った一方で、秋冬作の高値基調の影響もあり「にんじん」「キャベツ類」が前年を上回った。
野菜全体では、3月下旬から4月中旬までの平均価格は267円/kg（前年比97.6%）と前年をやや下回った。

果実類

入荷量 「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。
「かんきつ類」は前進出荷で少なくなった前年を上回り、平年並の入荷となった。「りんご類」は貯蔵量が多く、前年を上回る入荷となった。
果実全体では3月下旬から4月中旬までの入荷量は31,055t（前年比112.8%）と少なかった前年をかなり上回った。

相場 前年が潤沢な入荷で他品目に比べて高くなかった「いちご類」は入荷が不安定ながら前年をかなり上回った。一方、前年より入荷が多かった「かんきつ類」は価格が高騰した前年をやや下回り、同じく多かった「りんご類」は下位等級も多く前年を大幅に下回った。
果実全体では3月下旬から4月中旬までの平均価格は471円/kg（前年比95.6%）と前年をやや下回り、長く続いた高値基調から脱却したものの、依然として平年をかなり上回っている（平年比114.0%）。

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

平成29年3月下旬～平成29年4月上旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	産地	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
		開市日数 本年9日・前年9日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年23日・前年23日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	市場計	50,243	110.5	266	94.5	42,350	109.7	275	101.2	45,020	105.0	260	97.6	137,613	108.4	267	97.6
だいこん	市場計	4,782	112.5	98	86.7	3,999	123.8	108	95.5	3,936	107.9	90	81.4	12,717	114.3	98	87.9
	千葉	2,151	105.3	106	82.9	2,428	113.7	115	94.9	2,971	105.9	92	80.3	7,551	108.1	103	85.8
にんじん	市場計	3,157	105.7	175	144.5	2,680	130.4	175	130.2	2,815	108.6	183	115.3	8,653	113.3	177	129.2
	千葉	542	56.8	145	156.3	225	72.8	127	147.0	86	50.8	142	141.8	853	59.6	140	151.7
はくさい	市場計	2,166	117.1	175	136.6	1,762	96.9	192	153.5	2,206	117.0	148	154.9	6,134	110.5	170	146.6
キャベツ類	市場計	7,027	117.2	128	134.0	6,147	113.8	139	133.1	7,110	125.2	115	101.1	20,284	118.8	127	121.5
	千葉	1,213	186.3	123	119.9	664	73.4	130	120.0	847	80.6	121	112.5	2,724	104.5	124	116.4
ほうれんそう	市場計	516	120.8	430	73.6	419	107.5	488	93.2	372	92.7	470	97.5	1,307	107.3	460	86.6
	千葉	67	130.6	346	73.8	44	136.3	410	94.6	42	130.5	382	96.2	154	132.2	375	85.3
ねぎ	市場計	1,569	99.8	344	110.5	1,338	115.4	330	99.0	1,283	102.4	336	86.9	4,190	105.1	337	98.7
	千葉	743	98.7	348	112.1	610	110.0	335	104.0	559	92.0	331	88.4	1,912	99.9	339	101.4
レタス類	市場計	2,900	100.6	193	74.7	2,393	97.9	220	89.5	2,711	108.1	182	82.6	8,003	102.1	197	81.4
	千葉	131	168.4	184	68.5	82	122.1	221	92.6	72	133.7	207	85.3	284	143.3	200	79.7
きゅうり	市場計	2,813	102.3	273	86.3	2,367	106.8	273	104.3	2,300	93.4	286	102.3	7,480	100.7	277	96.2
	千葉	443	123.6	252	82.4	344	111.1	251	102.3	264	92.8	262	99.1	1,051	110.3	254	92.8
なす	市場計	1,013	122.9	416	89.7	895	117.1	445	104.4	828	89.8	456	111.9	2,736	108.9	438	101.4
	千葉	10	81.5	552	109.4	14	79.7	532	123.0	21	90.2	452	113.0	46	84.7	500	114.8
トマト	市場計	2,842	121.1	371	69.0	2,501	119.6	373	83.7	2,810	119.2	344	81.6	8,153	120.0	362	77.2
	千葉	179	134.4	338	66.4	165	121.8	331	81.4	200	116.0	304	80.4	544	123.3	324	75.9
ピーマン	市場計	900	119.8	443	78.3	744	114.1	416	88.6	769	96.4	421	94.6	2,413	109.6	428	86.6
	千葉	1	61.3	713	102.7	1	72.1	572	84.2	1	84.7	542	86.1	3	73.0	600	90.1
さといも	市場計	192	119.7	251	83.2	164	99.8	236	84.4	135	108.6	238	86.0	491	109.4	243	84.5
	千葉	47	85.8	216	73.9	47	80.1	209	76.2	32	59.5	216	77.5	126	75.3	213	75.8
ばれいしょ類	市場計	2,992	136.9	221	94.9	2,926	133.0	229	94.5	3,069	118.4	229	93.3	8,988	128.8	227	94.1
たまねぎ	市場計	5,008	98.8	134	145.4	3,861	94.2	136	160.2	3,907	84.0	134	149.6	12,776	92.5	135	151.0
生しいたけ	市場計	259	121.4	937	93.1	201	111.6	930	96.4	191	106.0	924	96.9	652	113.5	931	95.3
かぼちゃ	市場計	803	72.0	252	191.0	602	65.1	272	219.7	663	67.3	260	217.2	2,069	68.4	260	207.5
さやえんどう	市場計	88	150.4	990	72.6	75	130.4	1,049	77.9	72	110.1	1,134	87.0	236	129.5	1,053	78.8
かんしょ	市場計	1,013	115.5	213	87.4	806	106.4	211	90.5	788	106.7	208	91.2	2,606	109.9	211	89.5
	千葉	519	110.4	202	85.0	403	98.4	208	89.9	428	102.7	204	90.4	1,350	104.1	205	88.2
かぶ	市場計	532	121.2	154	89.8	423	101.2	150	93.3	491	92.8	145	106.4	1,445	104.3	150	96.7
	千葉	485	126.1	156	89.8	370	104.5	151	92.5	414	92.2	147	106.2	1,269	106.9	151	96.4
ごぼう	市場計	243	101.1	403	105.0	196	117.1	441	109.5	232	117.3	384	90.4	672	110.8	407	101.3
こまつ菜	市場計	479	110.6	259	80.4	396	101.6	292	97.6	427	99.6	265	100.5	1,301	104.0	271	91.9
	千葉	24	139.3	244	71.3	15	93.3	279	85.9	14	90.6	271	95.6	53	108.3	261	82.3
こねぎ	市場計	193	117.8	662	81.5	153	110.9	635	84.7	166	112.3	630	86.6	511	113.9	644	84.1
わけぎ	市場計	6.2	70.5	864	124.4	5.9	90.7	816	117.5	6.4	91.4	694	99.8	18.5	83.0	790	113.7
糸みつば	市場計	64	108.6	367	97.3	50	102.2	362	102.3	50	99.3	352	100.0	163	103.7	361	99.7
しゅんぎく	市場計	75	115.2	565	93.8	52	110.7	593	109.4	43	115.2	585	93.6	170	113.8	579	98.3
	千葉	18	127.3	568	91.2	13	121.4	622	106.7	12	125.1	638	89.4	43	124.8	603	95.0
にら	市場計	341	102.5	544	116.6	293	107.4	558	116.8	296	97.7	553	115.2	930	102.4	551	116.2
セルリー	市場計	375	118.3	256	76.2	285	102.4	309	82.8	328	101.5	310	98.9	988	107.6	289	85.2

品目	産地	3月下旬				4月上旬				4月中旬				3月下旬～4月中旬合計			
		開市日数 本年9日・前年9日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年7日・前年7日		開市日数 本年23日・前年23日									
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	96	157.2	305	81.9	85	83.7	299	100.4	123	124.3	227	90.6	305	116.3	272	91.4
ブロッコリー	市場計	1,156	165.7	320	62.6	992	171.7	369	70.9	968	152.6	419	72.3	3,116	163.2	367	68.3
サラダ菜	市場計	48	106.8	298	68.5	38	107.3	311	82.7	37	99.8	318	88.8	123	104.7	308	78.4
	千葉	16	112.6	302	68.4	14	116.2	303	74.0	14	103.4	314	84.1	43	110.6	306	74.8
パセリ	市場計	31	103.6	687	96.7	24	96.9	644	97.8	24	79.8	636	112.3	79	93.2	659	102.2
	千葉	12	90.1	661	95.2	10	87.1	610	98.9	11	75.8	575	113.4	34	83.8	617	102.5
チンゲンサイ	市場計	159	95.4	267	94.2	133	91.9	276	102.9	148	102.9	283	107.5	440	96.7	275	101.0
エンダイブ	市場計	6	92.3	704	67.8	5	87.1	632	70.2	5	82.3	556	89.7	17	87.3	634	74.4
ミニトマト	市場計	741	116.5	628	68.2	621	108.0	616	86.0	716	123.9	576	77.7	2,077	116.1	606	76.1
	千葉	62	121.2	676	68.5	57	119.8	654	85.2	59	119.1	628	79.8	178	120.1	653	76.9
とうもろこし	市場計	5	136.7	432	97.4	4	109.9	499	101.4	10	119.2	615	108.4	18	121.1	546	104.3
いんげん	市場計	112	123.0	844	86.4	93	105.0	857	85.8	85	101.1	909	92.6	290	110.0	867	88.0
そらめめ	市場計	189	1777.2	652	27.9	189	358.0	570	57.0	247	138.9	523	87.1	624	259.0	576	75.3
えだまめ	市場計	11	270.7	949	71.7	10	136.4	956	69.3	11	194.7	1,056	70.7	33	188.3	988	70.4
やまといも	市場計	54	106.4	677	97.4	45	96.0	677	95.0	46	103.3	671	93.9	146	102.0	675	95.5
	千葉	33	112.5	666	97.9	29	96.6	673	96.0	28	108.9	667	95.0	91	105.9	668	96.3
根しょうが	市場計	132	95.0	660	96.2	113	88.4	698	98.9	122	73.7	717	118.9	367	84.9	691	104.6
マッシュルーム	市場計	52	108.8	861	98.3	44	113.5	836	96.6	43	104.7	854	99.3	139	108.9	851	98.1
外国産	市場計	1,689	93.6	299	124.8	1,410	95.7	308	127.3	1,380	87.9	293	127.8	4,479	92.4	300	126.6
果実総量	市場計	12,475	116.7	475	92.2	9,347	113.8	490	100.7	9,233	107.0	448	94.9	31,055	112.8	471	95.6
みかん類	市場計	298	292.7	387	101.0	119	618.2	516	141.6	34	561.9	666	50.4	450	354.8	442	104.0
かんきつ類	市場計	4,756	121.3	305	95.8	3,254	118.0	307	95.6	3,062	116.2	303	93.8	11,072	118.9	305	95.2
りんご類	市場計	2,922	115.6	258	77.5	2,226	130.9	259	76.5	1,957	105.9	256	73.0	7,104	116.9	258	75.8
(ふじ)	市場計	2,491	119.8	256	76.4	1,937	137.5	255	74.6	1,693	114.1	252	70.8	6,121	123.1	254	74.2
いちご類	市場計	2,228	99.3	1,212	105.7	1,814	98.7	1,192	125.7	1,614	98.1	1,049	113.7	5,655	98.8	1,159	113.8
(とちおとめ)	市場計	974	95.0	1,118	105.2	820	100.8	1,133	126.1	774	101.7	995	112.5	2,567	98.8	1,086	113.2
(あまおう)	市場計	457	101.1	1,379	105.7	385	98.2	1,286	126.7	312	93.9	1,125	119.0	1,155	98.1	1,279	115.6
メロン類	市場計	249	133.1	817	86.4	241	143.2	724	78.7	324	118.7	651	80.0	814	129.6	724	82.1
	千葉	7	129.3	1,266	77.5	4	62.3	1,088	80.3	7	138.1	752	72.8	19	105.7	1,030	76.3
(アールスメロン)	市場計	109	138.3	1,263	77.3	78	118.2	1,156	76.1	83	101.1	977	78.9	270	119.0	1,144	78.5
	千葉	7	129.3	1,266	77.5	4	62.3	1,088	80.3	5	103.5	806	77.7	17	95.6	1,078	79.6
すいか類	市場計	271	137.9	374	94.4	342	95.4	359	102.7	666	93.3	327	98.1	1,279	100.8	345	99.4
	千葉	0	-	93	-	0	-	-	-	6	781.1	462	83.2	6	788.1	462	83.2
(大玉すいか)	市場計	197	150.1	313	99.0	232	87.0	301	101.5	522	91.2	295	98.1	951	98.0	300	99.5
(こだますいか)	市場計	74	113.5	537	96.4	109	120.1	482	95.6	144	101.6	440	95.1	328	109.9	476	95.9
	千葉	0	-	-	-	0	-	-	-	6	781.1	462	83.2	6	781.1	462	83.2
びわ	市場計	8	46.2	2,916	140.2	16	78.6	2,434	129.2	26	89.8	2,165	107.0	50	74.7	2,375	119.0
	千葉	0	0.0	-	-	0	28.5	3,159	108.8	0	6.1	3,390	106.1	0	9.1	3,292	104.3
ぶどう類	市場計	65	138.8	395	85.3	60	106.3	394	95.1	65	103.1	414	101.4	191	114.3	401	94.2
外国産	市場計	1,852	105.3	219	96.6	1,486	95.7	222	95.0	1,816	106.4	232	95.0	5,154	102.7	224	95.6

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えます。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 5月の見通し

野菜

春物野菜の最盛期となり、関東が中心産地となる。

天候に大きな崩れもなく、気温高、適度な降雨と好条件で気象も推移しており、入荷量は、「だいこん」「キャベツ類」「トマト」等を中心に多くの品目で前年を上回る予想で、野菜全体でも前年を上回る見込み。

4月から続く充足感による安値基調が引き続き影響し、価格は「だいこん」「にんじん」「キャベツ類」「ねぎ」「トマト」等多くの品目で前年を下回る。野菜全体でも前年を下回る見込み。

果実

「かんきつ」「いちご」は終盤を迎え、「すいか」「メロン」を中心に「びわ」「おうとう」「マンゴー」「ぶどう」「もも」など多くの果実が出回る。

「すいか」「びわ」などで生育の遅れがあるものの、全体的に作柄が良い品目が多く、不足感のない入荷が見込まれている。入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

「母の日」に向けてギフトを中心に売り込みが活発となっており、順調な荷動きが見込まれる。価格は高かった前年を下回るものの、依然として平年を上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	↓↓↓	↓	主産地は千葉県。両県とも生育は順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
にんじん	⇒	↗	↓↓↓	⇒	主産地は徳島・千葉県。徳島県の生育がやや前進しているものの、両県とも作柄は良好。入荷量はやや多かった前年並の見込み。
キャベツ類	↗	⇒	↓↓↓	↓	主産地は千葉・神奈川県。両県とも生育は順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は茨城・千葉県。両県とも生育は順調。入荷量は、前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↗	⇒	↗↗	主産地は埼玉・群馬県。両県とも生育は順調。入荷量は、少なかった前年を上回り、平年並の見込み。
トマト	↗	↗↗	↓↓↓	↓↓↓	主産地は熊本・栃木県。両県とも生育は順調で、目立った病害虫の発生もない。入荷量は、前年及び平年を上回る見込み。
たまねぎ	↗	↓↓↓	↗↗	⇒	主産地は佐賀・兵庫県。兵庫県は定植時の生育不良の影響が残る。入荷量は、少なかった前年は上回るが、平年を下回る見込み。
大玉すいか	↓↓↓	⇒	⇒	↗	主産地は熊本・千葉県。3月の天候不順による着果不良から、前半は少ない見込み。入荷量は多かった前年を下回る見込み。
びわ	↑↑↑	⇒	↓↓↓	⇒	主産地は長崎・千葉県。過去2年不作だった長崎県の露地作も作柄は平年並。入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↓↓↓	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↓	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑↑, ↓↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

にんじん

主要産地のにんじんの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	28年5月入荷量	28年5月シェア率
徳島県	5,532 t	62.8 %
千葉県	2,303 t	26.2 %
青森県	60 t	0.7 %
北海道	16 t	0.2 %

今後の競合産地の動向は?

にんじんは出荷時期により春夏にんじん(4-7月)、秋にんじん(8-10月)、冬にんじん(11-3月)に分類されます。

千葉県は冬・春夏にんじんの主要産地であり、東京都中央卸売市場への年間出荷量は北海道、徳島県を抑え、全国第1位となっており、年間市場シェアは40%近くになります。

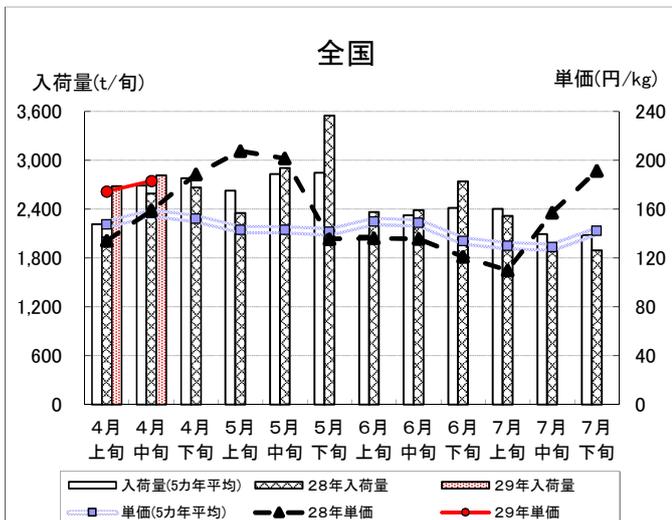
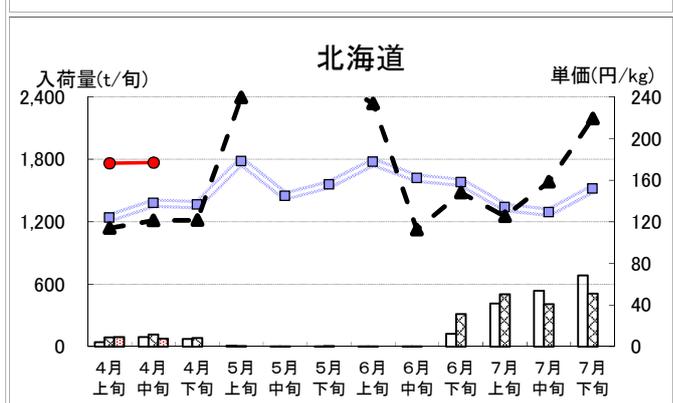
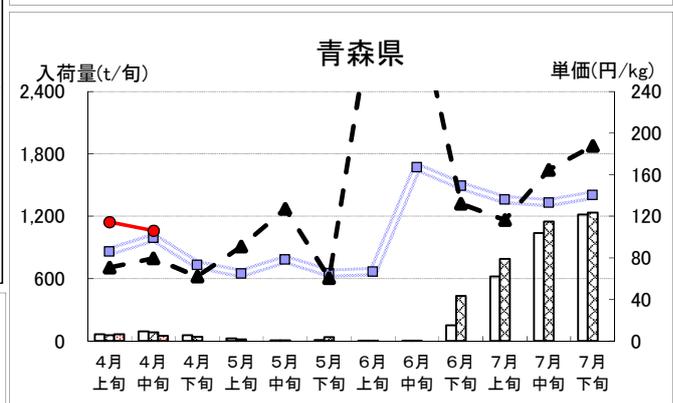
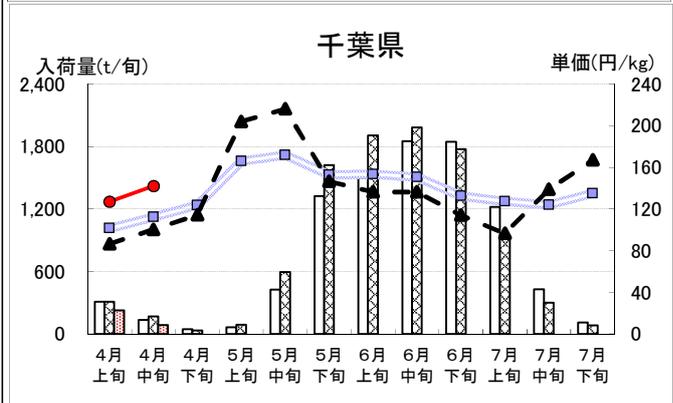
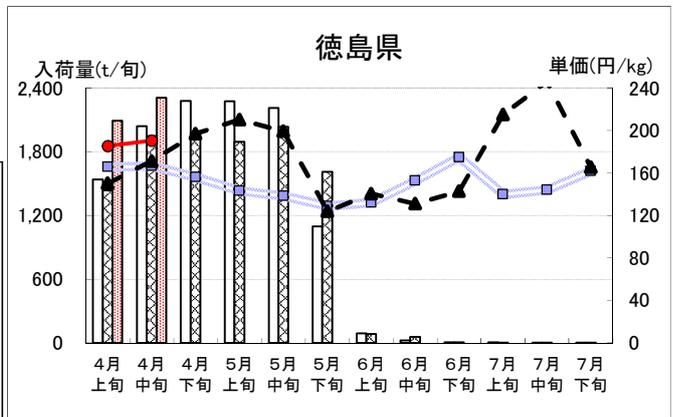
春夏にんじんは、主に徳島・千葉・青森県、北海道から出荷されます。徳島県からは3月上旬、千葉県からは5月中旬、青森県・北海道からは7月に出荷が始まり、産地をリレーしていきます。

前年は作柄が良好だったものの、徳島県産の生育が遅れ、5月中下旬に千葉県産と入荷が重なり、それまで高値だった価格が大きく下落しました。

本年は、昨秋の台風の影響が大きかった冬にんじんの入荷が少なかったことや、3~4月に周期的な雨があり入荷が安定しなかったことなどから、価格は高値で推移しています。

今後は、徳島県の生育がやや前進しており、切上りが早まる見込みです。千葉県は一部で生育の遅れがあるものの、概ね順調。両県とも作柄は良好です。全体では入荷量はやや多かった前年並で、平年をやや上回る見込みです。

5月入荷予測	8,600t(前年比97.7%、平年比103.6%)		
5月価格予測	145円(前年比82.1%、平年比101.6%)		
5月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 弱保合 ↘



Ⅱ 花き(切花)情報

4月(中旬)までの経過

数量少なく、相場も厳しい状況が続いている。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	国産、輸入とも平年より少ない入荷状況で、特に4月中旬は平年に比べ大幅に減少した。
相場	3月下旬は平年並であった。4月は需要の端境期な上、前年の高単価の反動で、特に中旬は平年を大幅に下回った。
動向	シャクヤク、ヒマワリが出始め季節感が変化した。

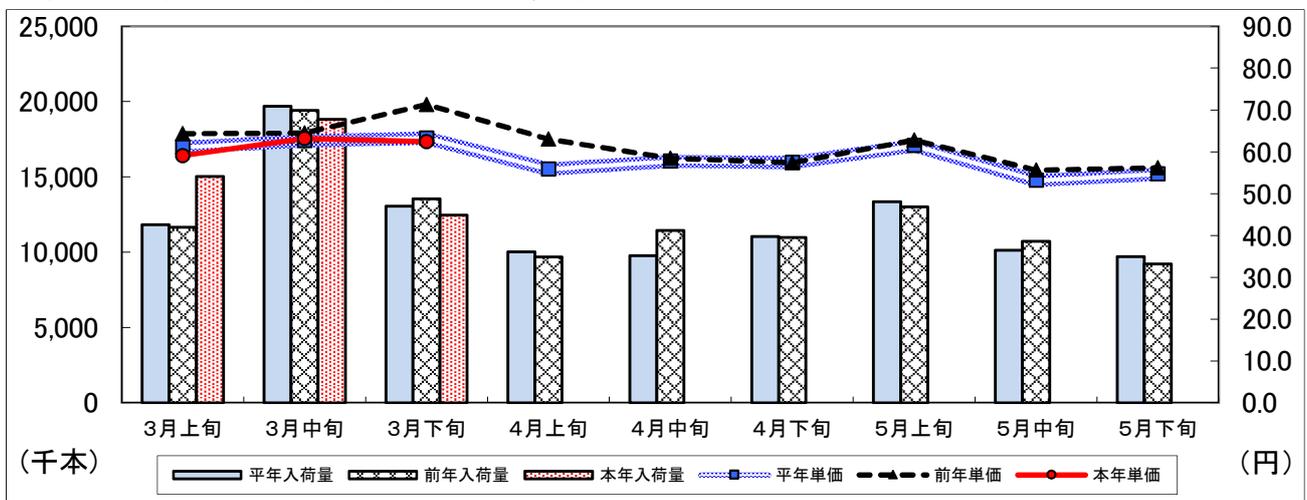
品目別経過

品目	経過
トルコギキョウ	(株)大田花き 月初めは入学式需要があり、動き出し良かったが、週末に天候が崩れる事が多く、引き合いは弱まった。
	(株)世田谷花き 沖縄が出荷のピーク。熊本・高知などからの出荷は前進気味。各色潤沢の入荷であった。

5月の見通し

品目	見通し
カーネーション	(株)大田花き 母の日において5月2週目が受注ピークとなる。国産STは、品種・色目により品薄高となる可能性有。SPは、前月から引き続き潤沢な入荷が見込まれる。
	(株)東日本板橋花き 上旬、母の日需要中心に動き有り。2L@80~100。
トルコギキョウ	(株)世田谷花き 長野・福島からの出荷も始まる。西南暖地からの入荷もあり各色潤沢。

3月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成
平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H29.3月				累計 (H29.1～H29.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	22,456	0.98	200	0.98	64,795	0.95	197	1.06
だいこん	2,794	0.98	91	0.94	8,058	0.96	86	1.09
にんじん	1,164	0.86	167	1.62	3,887	0.84	149	1.76
はくさい	1,118	1.21	136	1.23	5,507	1.03	100	1.53
キャベツ	4,643	0.92	107	1.37	11,963	0.88	106	1.58
ねぎ	1,023	0.89	286	1.12	2,951	0.86	284	1.19
トマト	803	1.14	381	0.67	2,055	1.06	415	0.77
きゅうり	824	0.93	270	0.80	2,231	1.00	307	0.79
ばれいしょ	1,619	1.00	226	1.08	3,879	0.91	221	1.28
たまねぎ	2,203	1.01	118	1.37	6,014	1.02	100	1.27
レタス	907	1.13	180	0.64	2,701	1.12	197	0.70
果実	4,761	1.10	389	0.89	15,118	1.05	377	0.93
みかん	428	1.51	284	0.76	4,235	1.24	247	0.85
かき類	3	3.33	373	2.66	149	2.52	285	0.67
グレープフルーツ	103	0.81	223	0.99	217	0.72	237	1.02
なし類	1	-	242	-	16	1.35	266	0.95
ぶどう類	39	0.80	340	0.84	78	1.14	352	0.77
いちご類	649	0.95	1,153	0.98	1,760	1.10	1,228	0.95
すいか類	28	1.03	407	0.88	34	0.98	403	0.94
メロン類	143	1.82	223	0.67	225	1.37	333	0.77
バナナ	421	0.91	165	0.90	1,255	0.99	155	0.87
りんご	848	1.07	249	0.79	2,120	0.86	270	0.94
その他	288	1.09	172	0.96	847	1.07	206	1.01
青果物合計	27,505	1.00	232	0.97	80,760	0.97	231	1.03

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H29.3月				累計 (H29.1～H29.3月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	5,922	1.50	62	0.93	12,285	1.43	60	0.97
きく	1,836	1.51	71	0.97	3,941	1.43	70	1.01
バラ	242	1.71	80	0.88	536	1.71	73	0.87
カーネーション	798	1.84	50	0.83	1,462	1.66	47	0.88
枝物	117	1.04	103	1.30	319	1.14	105	1.14
鉢物	110	1.25	171	1.01	267	1.30	145	0.91
その他	4	2.00	71	0.48	8	1.33	54	0.42
花き合計	6,153	1.48	65	0.94	12,879	1.41	63	0.97

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「安定は力なり」

近頃では珍しく平年より遅く咲いた桜もほぼ終わり、プロ野球も対戦が一巡、GWに向けていよいよ盛り上がってきた。私の応援する阪神タイガースでは、鳥谷選手が現役最長、歴代でも衣笠選手に次ぐ 1766 試合連続出場記録を更新中。鳥谷選手は、ベストナインやゴールデングラブ賞を何度も獲得する優秀な内野手だ。それだけでなく、負担の大きい遊撃を主なポジションとしながら、競争の激しいプロの世界で長期間安定してプレーの質を維持し続けているからこそこの記録である。鳥谷選手の記録はそこも大きく評価されている。

プロ野球だけに限らず、実は青果市場でもこうした「高成績（品質）で安定」がより評価されているように思う。3月中旬から入荷する山口県オリジナル柑橘「ゆめほっぺ」（品種名：せとみ）は、生産量が 200t ほどと少ないにも関わらず、市場での認知度は高く、入荷すると同時にすぐに売り切れる。それも多くの仲卸から注文が入り、出始めから終わりまで価格もほぼ一定。この人気の要因は、晩柑類でありながらみかんのように手軽に食べられる食べやすさという品種特性に加えて、糖度保証という品質の安定感、そして出荷期間こそ短いものの入荷が安定していることも大きい。

他にも高品質に加えて、出荷の安定が評価されている産地・品目は多い。例えば、宮崎県産マンゴー（太陽のたまご）、石川県産ぶどう（ルビーロマン）などである。

平成の初めごろまでは市場取引の 6 割を占めていたセリ売りも今では 1 割ほどになっており、相対取引という「現物の品質を見ないで行う取引」が中心となっている。そのため、品質がばらつく産地は敬遠され、一定水準以上の品質を保証し、安定的に提供できる産地が評価されるようになってきている。

また、同時にセリ売りの中心を担っていた八百屋も 4 割ほど減少している。「今は普通の人はスーパーで買い物をすませちゃうよ。だから飲食店や給食など納めの割合が増えていてね。こっちは注文の品物を集めるのが仕事だから入荷が安定してないと買えないんだよね。昔とは違うよ。」とは八百屋さんの声。今や青果物流通の中心を担う量販店はもちろんのこと、八百屋であっても入荷が安定しない品物を当てにしているのは、商売にならないのが現状だ。

特に、先に挙げた高級果選店で扱われるような品目になればなるほど、消費者に届いた一つの品物に対してがっかりさせない品質への責任感と同時に、いつ・どのくらいの量を提供できるかという入荷の安定感が求められている。結局のところ、どの品目であっても「安定」が信頼であり、産地の販売力の基礎になっている。

さて、鳥谷選手はポジションこそ違えど、今年も連続試合出場を続け打撃も絶好調。今年こそは関西人悲願の阪神優勝に向け、チームを引っ張ってくれるよう声援を送りたい。

（ぶわなしゃんば）

V 首都圏掲示板



房州びわなど春果実、本格出荷始まる！



まだまだ高値ながら、旬を大事にする高級果選店には欠かせない春果実です。

桜は散っても早朝はまだ肌寒い4月の大田市場。果実売場の主力、晩柑類やりんご、いちごなどの冬果実一色だった売り場も、マンゴー、さくらんぼなどの春果実がじわじわと増え始めています。

美味しいのはもちろん、果実には季節感も大事な要素。出荷の本格化に向け、卸売場ではさかんに旬の果物の試食宣伝会が繰り広げられています。宮崎県産マンゴーは空輸してでも初荷の数量を揃えるという異例の対応をするなど、母の日のギフト需要に向けた売り時を逃すまいとする懸命な産地の努力と、少しでも高品質な春の味覚をお客様に届けようと必死な買参人の熱気が市場にはあふれています。



4月18日はガーベラ記念日。全国のガーベラが大集合！

4月18日は「よいはな（418）ガーベラ」の語呂に合わせて、ガーベラ記念日としています。大田市場では静岡県、福岡県などガーベラの主産県をはじめとした各産地の多種多様な品種が4月3日から14日まで展示されました。千葉県からも2名の生産者のガーベラが展示されました。

1週目は大輪系やポンポン咲きの品種、2週目はミニ系を中心とした品種が展示されました。同じ品種でも産地ごとに花の大きさ、色、厚みの違いや、花持ちの差など、各々の品質が浮き彫りになり一目で比較されるため、複数産地の合同展示は細心の注意を払いましょう。



バラエティー豊富なガーベラは広いスペースで展示されました。